

よってけて!!

やさいで広がれ

地域の輪!!



つながる野菜プロジェクト



下吉田いきいきサロン



生活支援体制整備事業



赤い羽根共同募金

社協だより

『つながる野菜プロジェクト』とは、コロナ禍においても地域でつながり続ける取組みです。詳細は3ページをご覧ください。

第161号

令和4年7月22日 発行

〔編集発行〕

たがみまち ぶれあいネットワーク

社会福祉法人
田上町社会福祉協議会

住所 田上町大字原ヶ崎新田3071
TEL 0256-57-5877
FAX 0256-57-5073



田上町社協

検索



この社協だよりは共同募金の配分金の助成を受けて発行しています。

*** 皆様のおたたくいご協力ありがとうございました ***

令和4年度 社会福祉協議会会員と会費のご報告

社協会員のお申込み並びに普通会費のご納入にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

ご納入いただきました会費は、各自治会への助成事業など地域の福祉活動を支援するための貴重な財源として大切に使用いたします。

会員のご協力の方法に関していただいたご意見、ご提言については検討を重ねて参ります。社会福祉協議会の活動にもご意見、ご提言をお待ちしております。今後もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月30日現在

区分			区分			区分		
区名	令和4年度普通会費		区名	令和4年度普通会費		区名	令和4年度普通会費	
	金額(円)	世帯数		金額(円)	世帯数		金額(円)	世帯数
本田上第1	43,000	81	下横場	12,000	21	川船河北	30,500	57
本田上第2	23,500	45	上横場	22,700	42	清水沢第1	27,300	42
本田上第3	37,500	72	川前	6,500	12	清水沢第2	53,850	106
本田上第4	36,400	68	保明嶋	8,000	16	羽生田第1	31,700	63
川之下	73,200	137	下中村	14,000	25	羽生田第2	54,200	94
上野	82,100	163	上中村	5,000	10	羽生田第3	96,400	187
山田	81,500	145	四ツ合	11,500	23	羽生田第4	61,100	115
中店第1	38,800	67	千刈	6,500	12	青海	38,700	76
中店第2	34,500	65	石田	6,500	13	下吉田第1	40,790	79
中店第3	12,500	29	坂田	27,500	53	下吉田第2	23,150	46
中店第4	40,600	82	上吉田	36,700	72	下吉田第3	51,800	95
中店嶋	2,500	5	川船河東1	36,000	70	下吉田第4	31,000	60
湯川	70,723	129	川船河東2	63,200	123	原ヶ崎	90,550	168
後藤	15,500	29	川船河西	24,500	44	合計	1,552,363	2,936
曾根	13,500	25	川船河南	34,900	70	前年比較	-49,318	-59

令和3年度 資金収支決算の状況

【収入】

単位：円

科目	金額	備考
会費収入	2,001,681	社協会費
寄附金収入	136,413	一般寄附金
経常経費補助金収入	25,676,654	町補助金等
受託金収入	17,009,660	受託事業収入
事業収入	37,624	日常生活自立支援事業
介護保険事業収入	100,843,658	介護報酬等
就労支援事業収入	4,972,556	自主製品事業収入等
障害福祉サービス等事業収入	65,043,789	給付費収入等
受取利息配当金収入	250	預金利息
その他の収入	109,700	雑収入等
事業活動収入計 (1)	215,831,985	
施設整備等補助金収入	695,000	
施設整備等収入計 (2)	695,000	
積立資産取崩収入	996,182	
その他の活動収入計 (3)	996,182	
合計 (1)+(2)+(3)	217,523,167	

【支出】

単位：円

科目	金額	備考
人件費支出	166,109,686	役職員の報酬、給与
事業費支出	14,401,062	事業に関する支出全般
事務費支出	26,496,920	事務に関する支出全般
就労支援事業支出	4,697,424	就労支援事業所利用者の工賃、材料費他
その他の支出	192,314	利用者外の給食支出等
助成金支出	2,418,050	地域活動への助成
負担金支出	112,370	福祉団体等への会費
事業活動支出計 (1)	214,427,826	
施設整備等支出	695,200	
施設整備等支出計 (2)	695,200	
積立資産支出	197,000	
その他の活動支出計 (3)	197,000	
次年度繰越(4)	2,203,141	
合計 (1)+(2)+(3)+(4)	217,523,167	

ダンボール回収のお知らせ

現在、障がい者支援センターでは、ダンボール回収を行っております。協力してデイサービスセンター康養園も行っています。康養園へのダンボールの持ち込みは**月曜日のみ受け付けております**。当日の9時までにお持ち込みください。場所は正面玄関に向かつて右側です。

【問合せ先】
障がい者支援センター
57-4640
57-5570
デイサービスセンター康養園



康養園 ダンボール置き場所

つながる野菜プロジェクト

下吉田いきいきサロン

コロナ禍で家の中で過ごすことが増えた高齢者の孤立を防ぐため、人目に付く家の玄関や庭先で、プランターで野菜を育てながら近所同士声を掛け合いつながり続けようという試みです。

今回はコロナ禍でサロンをお休みしていた下吉田いきいきサロンの皆さんと地域の方の協力を得てトマトの苗を植えました。みんなでわいわいがやがや、口も手も動かし完成！植えたトマトは、各自宅で育てられます。

地域で、野菜をお世話している姿を見かけたらぜひ声をかけてみてください。



第2次田上町地域福祉活動計画の取り組みについて④



今、私たちを取り巻く社会が大きく変わってきています。個人だけでは支えきれない地域の課題がたくさんあります。町民の皆さんの声をもとに、5ヶ年計画を作成し、7つの実施プランを立てました。笑顔が輝く地域を目指して、一人一人ができることを始めてみませんか？

準備3

「障がいへの理解を深めよう」



課題 地域にはさまざまな特性や個性を持っている方々があり、みんな一緒に暮らしています。障がいを持つ子の親からは、「子どもの将来のことが心配。」「親が年をとっても安心して暮らせる環境が必要。」等の声が聞かれます。しかしそれらの理解がまだまだ十分とは言えず、情報も多くありません。誰もが安心して暮らせるよう、理解を深めましょう。

5年後、こんな地域を目指そう!

- ・みんな一緒に行事に参加している。

みんなで取組もう

- ・区別なく挨拶や声掛けを行い、コミュニケーションを図りましょう。
- ・障がいを抱えている方の立場になって物事を考えてみよう。
- ・誰もが必要な支援を得やすいように、日頃から気づきの意識を持ちましょう。

社協・町が取り組むこと

- ・障がい理解の推進
- ・既存サービス・組織の充実、活用
- ・関係機関との連携、情報共有

～みんなで作ろう!! 笑顔が輝く地域のしくみ～

赤い羽根共同募金
助成決定
 (令和3年度助成決定)

今年度は新型コロナウイルスの影響により交付式は行いませんでしたが、田上町共同募金委員会から左記の4団体に交付いたしました。地域福祉の事業推進に役立てられます。

- 山田さわやかボランティアクラブ
 (高齢者の買物支援)
- 川船河東2区 (公園緑化活動)
- 川之下ボランティア会
 (地域たすけあい事業)
- 田上町社会福祉協議会
 (地域福祉活動10事業)

また、歳末たすけあい募金による助成は5団体に配分し、子ども達の福祉教育活動や歳末たすけあい訪問事業などに役立てられました。

- 田上小学校
- 羽生田小学校
- 田上町身体障害者福祉協会
- たがみ家族会
- 田上町社会福祉協議会



様々な機会を通じてご協力をいただいた皆様
 に、心よりお礼申し上げます。



手作りの赤い羽根募金箱を募集!!

～自分のまちをよくするしくみ～

赤い羽根共同募金では、毎年10月から12月の期間に募金運動を行います。共同募金委員会では、この運動期間中に、町内の施設やお店などの協力店に設置する手作りの募金箱を募集します。

あなたが作った募金箱が、町のどこかで活躍します!

★★応募作品は田上町社会福祉協議会のHPや社協だよりなどで

紹介させていただくことがあります。★★

応募締切 令和4年8月31日(水)まで

応募方法 社会福祉協議会まで持参または郵送で応募してください。

応募作品 下記の4つの約束を守って応募ください。

- ①募金箱の素材に制限はありませんが、お金の重さに耐えられるものであること。
 - ②大きさは一辺の長さが30cm以内のもの。
 - ③募金を入れる口があること。
 - ④赤い羽根共同募金の募金箱だということがわかるようにしてあること。
- ※応募のあった募金箱は返却いたしませんので予めご了承ください。



【問合せ・応募先】 田上町共同募金委員会 (事務局: 地域福祉課)
 〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田3071番地
 TEL: 0256-57-5877 FAX: 0256-57-5073

----- ボランティアセンター通信 ⑱ -----

ボランティアセンターってこんなところ！

ボランティアの窓口

ボランティアさんに「手伝って欲しい」、活動に「関心がある」「参加したい」という方々の相談窓口として情報提供のお手伝いをさせていただきます。

ボランティアセンターでは、人と人との繋がりを大切にし“お互い様”の気持ちによる助け合い・支え合いの活動を目指します。

ボランティアの力を借りたい方

「ボランティアを依頼したい」という方の相談をお受けしています。

例えば、足腰が弱くなりゴミ出しができない、電球の取替えやタンスの移動を手伝って欲しいなどのちょっとした困りごと、茶飲み話の相手や交流の場を探している、施設の利用者さんに音楽を届けたいなど気軽にご相談ください。

ボランティアの方々は、自発的に「何かお手伝いできることがあれば」という気持ちで活動されています。ボランティア活動時には「ありがとう」の気持ちをお伝えいただけると嬉しいです。

流れ



相談受付

↓ 依頼内容や日時等をお聞きます。

ボランティアを探す

お聞きした内容を基にボランティア登録者の中から活動してくださる方を探します。活動者が見つからない場合もありますのでご了承ください。

紹介

↓ 依頼者と活動者とで打合せを行います。

受入れ

ボランティアが活動を行います。

【問合せ先】 地域福祉課（ボランティアセンター事務局） ☎57-5877

夏休み企画 小・中学生集まれ～！！

ボランティア チャレンジスクール



夏休みの期間を利用して、ボランティアをしてみませんか。色々な体験があるので、興味のある方はぜひ参加してください。

詳細は、各学校で配付したチラシをご覧ください。

■対象 小学1年生～中学3年生

■会場 総合保健福祉センター

日時	内容	定員
8/1(月) 午前10時～ 正午	【防災グッズ作り】 新聞紙を使ってスリッパを作ったり身近にあるもので応急手当を習います。	20人
8/2(火) 午後1時30分 ～3時30分	【赤い羽根募金箱作り】 共同募金の募金箱を作ります。作成した募金箱は募金運動期間中、協力店に設置させていただきます。	10人
8/8(月) 午前10時～ 正午	【エコバッグ作り】 新聞紙を使って紙袋を作ります。作った袋は障がい者支援センターに寄付し製品販売時の買物袋に活用させていただきます。	15人

【問合せ先】 地域福祉課（ボランティアセンター事務局） ☎57-5877

募金箱を
設置して
応援！！

24時間テレビは愛は地球を救う
チャリティキャンペーン

今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、街頭募金活動は実施致しません。それに代わり、募金箱を設置致しますので、皆様のご協力をお願い致します。

■日程 8月27日(土)・28日(日)

■募金箱設置場所 SAITOHピアレマート田上店、道の駅たがみ、

総合保健福祉センター（社協事務所）

【問合せ先】 地域福祉課 ☎57-5877



着物の寄付

ありがとうございます

たくさんの方から、障がい者支援センターに着物の寄付をいただきました。布ぞうり等の製品作りに活用させていただきます。布ぞうり等尚、寄付は現在も受け付けておりますので、ご協力お願いいたします。



いただいた着物は布ぞうりや炭っこの材料として活用されます

何かしながらやるって!!

あなたも地域支え合いの一員『ながら見守り活動隊!!』

田上小学校ジャンプアップ学級と羽生田さくら学級の皆さまがデザインした、ステッカーと車用マグネットを事業所にお届けしています。

「とてもかわいいデザインだね◎」と大好評です!!

登録いただいた企業の写真を随時掲載しますので、たくさんのご登録をお待ちしております!

【問合せ先】

地域福祉課

☎57-5877



㈲モリデザインワークス



今井建具店



加茂駅前 ㈲大阪屋



羽生田郵便局

あなたの資格を活かしませんか?

職員募集



ホームヘルパー (パート職員)

仕事の内容	日常生活に支障のある高齢者や障害をお持ちの方のご自宅を訪問し、掃除や買い物などの家事支援や食事や入浴などの身体介護を行います。
勤務	勤務時間 8:00~18:30の間の4時間程度 勤務日数 週4日程度 ※本人の都合に応じて調整いたします。
給与	時給865円~1,000円 その他:介護福祉士資格手当5,000円、通勤手当・移動手当・処遇改善手当 別途支給します。
必要な資格・要件	<ul style="list-style-type: none"> 普通自動車免許 介護福祉士資格、または介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)、ホームヘルパー1級 年齢:65歳位までの方

*お気軽にお問合せください

【問合せ先】法人事務局 担当:西澤、桑原 ☎57-6270

あとかき

コロナが流行し始めてから2年以上経過し、すっかりマスク生活が定着していますが、そのことについて触れようと思います。

マスクを着けていると、笑顔でいるつもりが、「目が笑っていない。」「楽しそうじゃない。」と言われることがあり、「目は口ほどにものをいう」という諺を実感しています。やはり顔全体が見えた方が感情を伝えやすいですね。早くコロナ前の生活に戻れるように願う毎日です。🙏

私達たちのやりがい、利用者さん一人ひとりに寄り添った支援ができることです。



私達と一緒に働きませんか!一緒に働いてくれる方を募集中!